

多方面からの視察受け入れ、宇治茶を情報発信

当所では、平成 29 年度のリニューアルを機に多方面からの視察を受け入れ、当所の取組や宇治茶についての情報発信を行っています。

7 月には、茶業関係者のみならず、林業関係、建築関係、金融関係等 16 団体の視察を受け入れました。

視察者からは、「手摘みと機械摘みの違いで品質がどのように変わるのか」など、宇治茶に関する具体的な質問を受けました。

また、7 月 12 日には、林野庁長官が林業大学校の学生とともに府内産木材を利用した研究棟・製茶棟の木製工法・構造物について視察され、併せてシンプルなオープン空間の交流室で学生に対して、今後の林業振興、木材振興について講義をされました。

今後もより多くの方に情報発信できるよう、積極的に視察を受け入れます。



林野庁長官が製茶棟を視察



交流室を利用して林業大学校が授業